

会 議 結 果 報 告 書

令和 8 年 6 月 4 日

会議の名称	令和 7 年度 第 4 回舞鶴市廃棄物減量等推進審議会（第 8 期第 6 回）	
種別	☒ 附 属 機 関 ☐ 懇 話 会 等	
開催日時	令和 7 年 1 2 月 2 3 日（火）午後 2 時 00 分～午後 4 時 00 分	
開催場所	市役所別館 6 階 大会議室	
出席者	山川会長、青山副会長、佐藤副会長、尾上委員、木谷委員、小谷委員、品田委員、谷口委員、寺島委員、永野委員、森委員（12 名中 11 名出席） 吉田市民環境部長、大谷市民環境部次長、有田生活環境課長、吉田生活環境課主幹、清水環境施設課長兼清掃事務所長、志摩リサイクル事務所長ほか	
議題	(1)「住み続けられる持続可能な地域」について (2)「市民・事業者・行政の連携・協力」について	
公開の区分	☒ 公 開 ☐ 部分公開 [理由]	
傍聴者数	なし	
審議結果 及び 主な意見等	① 不燃ごみ収集立番の任意化と高齢化への対応 立番の任意化について概ね了承。 ・「将来自分も高齢者になる」視点から、集積所へごみを持っていくことが困難になるのを見据えたビジョンの必要性が強調された。 ・立番は自治会の負担であり、任意化はインパクトを持つ取組。 ② 広域化と住民参加 ・費用がかかる施設改修に向け、福知山市などとの広域化検討の必要性が示され、住民を巻き込んだ議論の必要性が指摘された。 ③ 海洋プラスチック対策と環境啓発 ・漂着ごみの量や種類を分析し「見える化」することで、ごみを「生まない」暮らしへのシフトを促すべき等の意見が出た。 ④ 中間支援組織の必要性和コミュニティのリデザイン ・行政と市民等の間に立ち、アドバイスや活動支援を行う「中間支援組織」が市内に存在しないことが課題として挙げられた。	
会議録の作成様式	☒ 詳 細 ☐ 要 約	
備考		
担当課	舞鶴市 市民環境部 生活環境課 TEL (0773) 66- 1005	